

チュートリアル課題 頭痛の山崎さん

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2009-03-16 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 東京女子医科大学 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10470/1216

平成10年度 Block. 5

課題 No. 3

「頭痛の山崎さん」

無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください。



T. W. M. C

<課題番号> 1998-B5-3

<課題名> 頭痛の山崎さん

課題シート1

37歳の建設会社に勤務する男性、3週間前に咳、微熱、頭痛が出現、近医より風邪薬を処方されていた。1週間前より頭痛が激しくなり、嘔気、嘔吐も出現したので来院した。

T. W. M. C

<課題番号> 1998-B5-3

<課題名> 頭痛の山崎さん

課題シート2

身体所見は意識清明、身長175cm、体重60kg、体温37.2°C、脈拍80、呼吸数18/分、血圧130/84mmHg、項部硬直(+)、Kernig微候(+)、咽頭所見は資料1に示す。両腋窩に1cm大のリンパ節腫大、心雑音なし、肺にラ音を聴取せず。肝脾腫なし、下肢に隆起性の紫色皮膚病変を認める(資料2)。直腸診は異常なし。

T. W. M. C

<課題番号> 1998-B5-3

<課題名> 頭痛の山崎さん

課題シート5

入院後経過

入院後アムホテリシンBとフルシトシンの治療にて頭痛は軽快していたが、乾性の咳嗽と呼吸困難を来し、胸部レントゲン写真(資料4)、CT所見(資料5)にて異常陰影を示した。動脈血ガス分析所見では PO_2 40torr、 PCO_2 35torr、pH 7.38 であった。気管支鏡検査が行われ、気管支肺胞洗浄液中にグロコット染色に染まる病原体を認めた(資料6)。患者の了解を得ずに行われたHIV抗体検査が陽性であった。

T. W. M. C

<課題番号> 1998-B5-3

<課題名> 頭痛の山崎さん

課題シート6

主治医はAIDS予防法に基づいて届出を行った。治療としてアジドチミジン(ZDV)、ラミブジン(3TC)、インジナビル(IDV)の3者併用療法が行われた。山崎さんはAIDSとの診断を受けたことにより今後の生活や周囲との関わりについて悩んでいた。カウンセラーによりカウンセリングを受けることとなった。